Oracle and KPMG Cloud Threat Report 2019からの考察

出遅れる日本企業のクラウドセキュリティ

～クラウドセキュリティに関する
グローバル意識調査から判明した改善ポイント～

KPMGコンサルティング株式会社

グローバルでのセキュリティ調査結果
“ORACLE AND KPMG CLOUD THREAT REPORT 2019”

KPMGではOracle社とともに“ORACLE AND KPMG CLOUD THREAT REPORT”（英語）を発行しました。レポートでは、クラウドサービスが急速に拡大している状況において、各企業が直面しているサイバーセキュリティの課題とリスクを検証し、ビジネスを成功に導くための重要な洞察と推奨事項を提供しています。

調査実施期間：	2018/10/19－2018/11/5
回答数：	456社
調査結果：	米国、カナダ、英国、オーストラリア、シンガポール

レポートは下記サイトよりダウンロードいただけます。
https://advisory.kpmg.us/articles/2019/cloud-threat-report-2019-oracle-kpmg.html

海外における動向とトピック

上記のレポートから導き出されたクラウドセキュリティに関する主な動向とトピックは以下のとおりです。

動向	トピック
クラウドガバナンスのさらなる強化が必要	ミッションクリティカル化するクラウドサービス
	無くならないセキュリティポリシー違反
セキュリティインシデントの検知が課題	クラウドサービスの可視性は依然として課題
	機械学習によりセキュリティの監視を強化
自動化によるセキュリティ運用の改善	オートメーションによりパッチ適用問題を解決

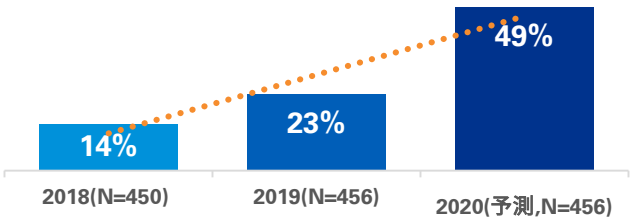
© 2019 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative (“KPMG International”), a Swiss entity. All rights reserved.

グローバルでのクラウド利用の状況
ークラウドガバナンスのさらなる強化が必要

ミッションクリティカル化するクラウドサービス

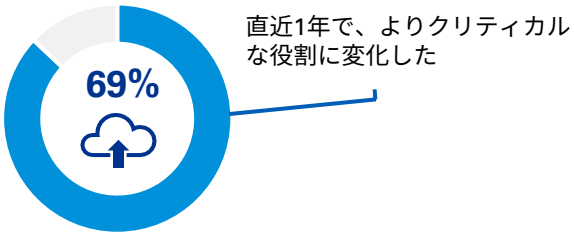
多くの企業にとってクラウドサービスの利用が一般的になり、ビジネスにとってさらにクリティカルな役割を担うようになりました。

半分以上のデータをクラウドに保管している企業の割合



半分以上のデータをクラウドに保管する企業は、2020年には、半数に達すると予想されています。

クラウドサービスの重要性の変化

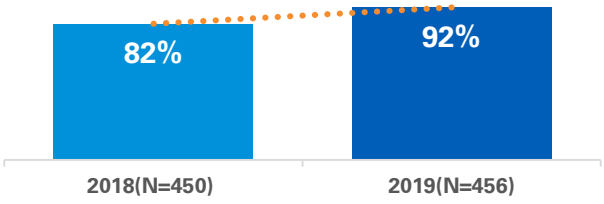


クラウドサービスの重要性は増しており、ビジネスにとってますます不可欠な存在になっています。

無くならないセキュリティポリシー違反

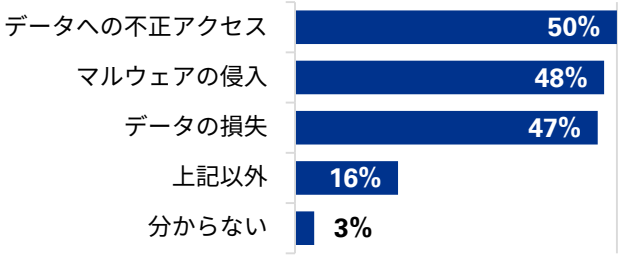
多くの企業では、セキュリティポリシーに違反したシャドーITの利用を懸念しています。実際に、シャドーITの利用により複数のセキュリティインシデントが発生しています。

セキュリティポリシーに違反したクラウドサービス利用への懸念



クラウドサービス利用への懸念は、軽減するどころか、増加しています。

シャドーITの利用により発生したインシデントの種類



データへの不正アクセスだけでなく、マルウェア感染、データ損失などのインシデントが発生しています。

© 2019 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative (“KPMG International”), a Swiss entity. All rights reserved.

グローバルでのクラウド利用の状況
ーセキュリティインシデントの検知が課題

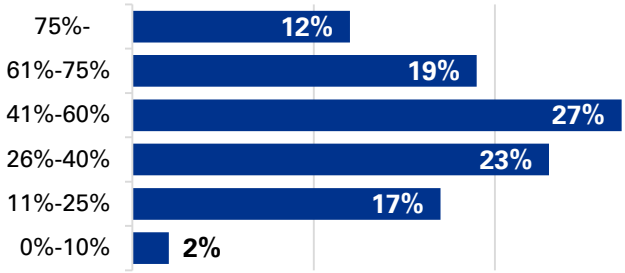
クラウドサービスの可視性は依然として課題

グローバルでは特に、セキュリティインシデントの検知が最大の課題となっており、セキュリティイベントデータを十分に活用できていないことが懸念されています。

サイバーセキュリティの最大の課題

セキュリティインシデントの検知が最大の課題となっています。

セキュリティイベントデータを収集・分析できている割合

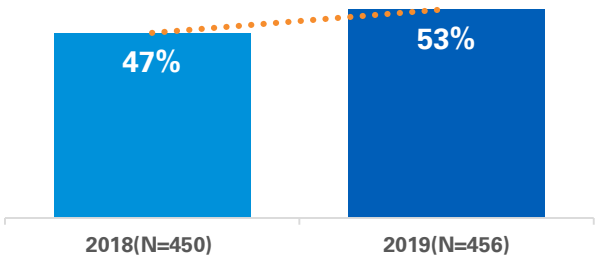


セキュリティイベントデータの活用は不十分な状況です。

機械学習によりセキュリティ監視を強化

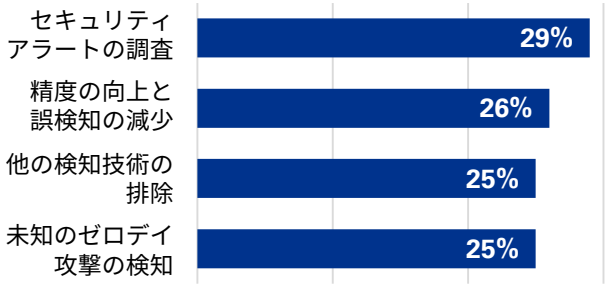
サイバーセキュリティ用途での機械学習の利用が検討されており、特に、セキュリティイベント検知への解決策として期待されています。

サイバーセキュリティの用途で、機械学習を利用／計画している割合



半数以上の企業において、サイバーセキュリティ用途で機械学習を利用／計画しています。

サイバーセキュリティ用途における、機械学習の最大の効果



機械学習は、セキュリティアラート調査の高度化・効率化に期待されています。

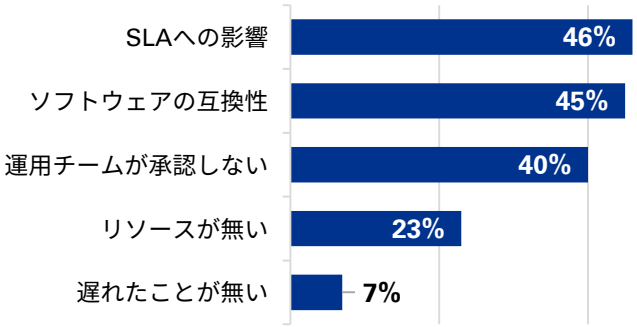
© 2019 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative (“KPMG International”), a Swiss entity. All rights reserved.

グローバルでのクラウド利用の状況
ー自動化によるセキュリティ運用の改善

オートメーションによりパッチ適用問題を解決

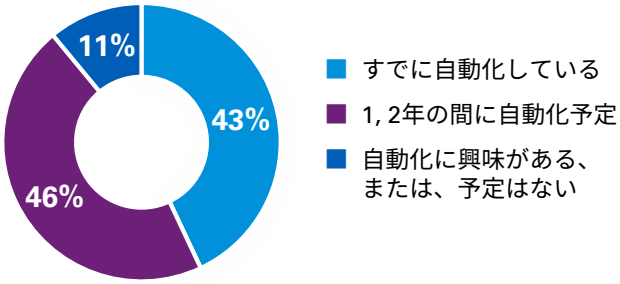
SLAへの影響等の問題によりパッチが適時に適用できていないため、グローバルでは、パッチ管理の自動化が進められています。

パッチ適用が遅れる理由



SLAへの影響等でパッチが適時に適用できていない状況です。

パッチ管理を自動化する計画



約90%の企業が、パッチ管理の自動化を実施／計画しています。

© 2019 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative (“KPMG International”), a Swiss entity. All rights reserved.

日本企業が取り組むべき対策
ークラウドサービスの更なる活用に向けて

日本企業におけるクラウドセキュリティ対策

今回の調査結果から、日本企業においてはクラウドセキュリティについて、以下の対策が必要と考えられます。

動向	トピック	クラウドセキュリティ対策
クラウドガバナンスのさらなる強化	ミッションクリティカル化するクラウドサービス	利用するクラウドサービスの最適化
	無くならないセキュリティポリシー違反	シャドーITの管理（CASB）と安全な構成の維持
セキュリティインシデントの検知	クラウドサービスの可視性は依然として課題	クラウドサービスにおけるログ管理・分析（CASB/SIEM）
	機械学習によりセキュリティの監視を強化	機械ユーザの振る舞い検知（UEBA）
セキュリティ運用改善	オートメーションによりパッチ適用問題を解決	セキュリティ運用のツール利用（SecOps）

日本企業が目指すべきクラウド管理の成熟度

KPMGでは、クラウドセキュリティ管理の成熟度を設定しています。日本企業が目指すべきは、レベル4〜5となります。

レベル5 最適化	• 利用目的ごとに、最適なクラウドサービスを選定・集約・管理している
レベル4 管理可能	• CASB等のツールによりクラウドサービスの利用を管理・制限している • 同様の利用目的で、複数のクラウドサービスが利用されている
レベル3 定義済	• クラウドサービス利用可否判断のチェックリストを定義している • チェックリスト未適用のクラウドサービスの利用は管理できない
レベル2 反復可能	• クラウドサービス利用の方針を定義し利用可否の審査を行っている • 利用可否の判断基準は定義されておらず、審査担当者に一任されている
レベル1 初期	• クラウドサービス利用の管理方針、プロセスは定義されていない • ビジネス部門が独自の判断でクラウドサービスを導入、利用している

© 2019 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative (“KPMG International”), a Swiss entity. All rights reserved.

**KPMGコンサルティングは、企業にとって
最適なクラウド構築を支援します。**

詳細は下記までお問合せください。

KPMGコンサルティング株式会社

TEL: 03-3548-5111
E-Mail: kc@jp.kpmg.com

home.kpmg/jp/kc

無断転載禁止

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
本文中では、Copyright、TM、Rマーク等は省略しています。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2019 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Company Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved. 19-1069

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.